

日本文化を英語で紹介しよう

Let's explain our culture in English!

監修：江口裕之
(CEL 英語ソリューションズ最高教育責任者)

外国人に日本文化を紹介していると予期しない質問がたくさん飛び出します。皆さんでしたらどう答えますか。

日本人は日本料理を食べるときにどうしてスプーンを使わないの？ Why don't the Japanese use spoons when eating Japanese food?

日本人は皿や椀を手に取り、口元に持ってくる習慣がありますし、また汁物も椀から直接飲みます。そのため、日本料理を食べるときにはスプーンは要らないのです。

It's the custom for the Japanese to pick up plates and bowls and bring them to the mouth. They also sip soup directly from the bowl, so they don't need spoons to eat Japanese food.



point 日本では食卓は発達せず、食器は床、あるいは、個別の低い膳に並べるのが普通でした。そのため、食事のときは、椀や皿を手で持ち上げ、口の近くに運ぶ習慣があります。また汁物も、椀を口に付けてじかに飲むのが作法です。つまり、日本料理は箸があれば何でも食べることができ、スプーンを使う必要はないのです。西洋では逆に、椀を手を持ちたり、スープを口でじかに飲んだりするのはご法度です。事実、英語では、eat soupと言い、スープは口から「飲む」ものではなく、スプーンで「食べる」ものなのです。ちなみに、食卓が日本に登場するのは明治期以降で、テーブルをみんなで囲む西洋の食習慣が広まった結果、西洋のテーブルの脚を短くし、折り畳み式にして和室で使えるように改造したのがちゃぶ台でした。なお、箸しか用いないのは和食に限ってであり、西洋料理と日本料理が融合した洋食では、スプーン、フォーク、ナイフなども自由に用いられます。

相撲ってどうしてそんなに儀式的なの？ Why is sumo so ritualistic?

相撲は、日本固有の宗教である神道に基づく、豊凶を占う宮中行事に由来します。そのため、相撲には多くの儀式的特徴が残っています。事実、土俵の屋根も神道の神社をモデルにしています。

Sumo originated as a court ritual of fortunetelling based on Shinto, Japan's indigenous religion. Therefore, sumo retains many ritualistic features. In fact, the roof of the ring is modeled after that of a Shinto shrine.



point 相撲に関する記述は古事記などにも見られ、その起源は古代に求められますが、現在見られるような相撲の歴史は、平安時代の宮中行事にさかのぼります。天皇の前で相撲をし、勝ち負けからその年の豊凶を占う神事がその起源です。江戸時代には、塔堂・仏像の建立・修理の資金を集める動進を目的に相撲興行が許されるようになり、やがて自由化されて現在の観戦スポーツへと発展していきます。このような歴史から、相撲にはさまざまな儀式的特徴が見られます。例えば、試合前に力士が「四股」といって大きく足を上げて地面を足で踏み鳴りますが、これは地面の下に潜む邪気を追い払うための神道の儀式に由来します。力士はまた、土俵に塩をまきますが、これも神道の清めの儀式からきています。土俵自体も神社をモデルにしており、屋根があります。この屋根は、三重県にある伊勢神宮の唯一神明造の屋根と同じ造りになっています。

能楽ではどうして役者が面(おもて)を着けているの？ In Noh theater, why do the principal actors wear masks?

能楽のほとんどの演目の基本テーマは、神や死者の霊、鬼などの超自然物との遭遇です。面を着けるのは役者がそれらの超自然物に変身するためなのです。

The basic theme of most Noh plays is encounters with supernatural beings, including deities, spirits of the deceased, and demons. Wearing a mask is a way for the actors to transform themselves into those supernatural beings.



point 能には、神や霊や鬼などの超自然物を主人公とする夢幻能と、現実世界の出来事を描く現在能があり、面が用いられるのは夢幻能の方です。現在演じられている能の作品は250曲ほどありますが、そのほとんどが夢幻能です。夢幻能の基本パターンは、生身の人間を演じるワキ(助演者)が、面を着けて超自然物を演じるシテ(主演者)との遭遇を通じて、霊界のメッセージを受け取るというものです。西洋では、面は人の素顔を隠すためのもの、というイメージがありますが、日本では、その面が表す自分以外の何かに変身するという意味合いがあります。つまり、シテが面を着けるのは、霊的存在に自ら変身し、霊界のメッセージを人間界に送るためなのです。一方、ワキは観客の代表者が舞台に送り込まれたような存在です。ワキを通じて観客全体が霊界のメッセージを受け取り、共有するという意味合いがあります。その意味では能は演劇よりも儀式に近いのかもしれない。

神道ではどうして清めがそれほど大切なの？ Why is purification so important in Shinto?

神道の神は自然現象が具現化したもので、恵みと災いのどちらももたらす可能性があります。清めの目的は、神を鎮めて災いをもたらしながら、神から最大の恵みを引き出すことにあります。

Shinto deities are manifestations of natural phenomena and can bring both blessings and misfortunes. The purpose of purification is to appease the deities so as to avoid misfortunes, while at the same time trying to receive the greatest blessings from them.



point 日本は元来、自然災害が多くて危険な国である一方、自然の恵みも豊かです。神道の神々はそのような自然現象が具現化したものと考えられ、恵みをもたらす穏やかな側面と災いをもたらす荒々しい側面の両方を持ち合わせています。神道の儀式の多くは、神の荒々しい側面を鎮めることで、恵みを十分に引き出すことが目的であり、清めはその中で最も重要な儀式です。一方、清めには合理的で科学的な側面もあります。例えば、日本の夏は高温多湿になり、伝染病や食中毒が広まりやすくなります。清めに使われる、水、塩、酒はいずれも殺菌作用があります。清めは、自然と折り合いを付けながら、平和に安全に生きていくための日本人の知恵といってもいいでしょう。日本人は儀式のように毎日風呂に入るとか、よく手を洗ったり掃除をしたりするといわれますが、これらも清めの一環とも、また、科学的にも衛生と安全を保つためのごく自然な発想とも説明できそうです。